

2021年度 実務経験のある教員による授業科目一覧【看護学部】

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
伊藤 美千代	産業保健論 I	1	産業保健活動経験を活かし、事例を通じて産業保健活動の実際の講義を行う。
吉江 悟	保健福祉行政論	1	地方自治体における保健福祉行政施策の計画、実行、評価を行っている実務経験事例を通じた授業内容とする
吉武 幸恵	看護技術論 I	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、看護技術(主に生活行動支援)の基礎について指導する。講義と課題学習の組み合わせにより、看護技術の意義、特徴を理解し、主概念である安全・安楽・自立を目指すことの重要性および、看護の基本である人間関係技術を理解し、対象者との関係を築き発展させる能力が身につくよう指導する。
吉武 幸恵	基礎看護学実習 I	1	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療施設において患者の療養環境や入院生活の中での援助の在り方について指導する。病院(臨地)において患者と療養の場を共有し、患者を取り巻く療養環境を多面的に捉え、その人にとってよりよい療養環境や入院生活の中での援助のあり方について指導する。
金子 仁子	公衆衛生看護活動方法論	1	保健師としての経験をいかして、地区診断、事業評価の内容を享受する 乳幼児健康診査の実際場面を想起できるような演習材料を提示する
高柳 千賀子	高齢者看護学概論	2	総合病院の病棟での高齢者看護の実務経験を活かし、老化現象が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について解説する。講義と一部グループワークにより高齢者を取り巻く保健・医療・福祉における課題を考察し、老年看護の目的と役割について理解する。
高柳 千賀子	看護と情報 I	1	総合病院・病棟での看護師としての実務経験を活かし、看護における情報の基本となる考え方を教授する。講義と一部グループワーク等により、保健・医療・福祉をつなぐ情報の考え方、その利用目的や役割について理解する。
高柳 千賀子	高齢者看護学実習 I	2	高齢者看護の実務経験を活かし、地域の医療施設や介護保険施設において、高齢者とその家族の価値観を尊重した対応について指導する。医療施設や介護保険施設での臨地実習で、入院・入所する高齢者並びに地域で生活する高齢者など様々な健康レベルにある高齢者を広く理解する。また、地域包括ケアシステムにおける高齢者支援の状況を知り、高齢者ケアに従事する保健医療福祉専門職間の連携と看護の機能について学ぶ。
高柳 千賀子	高齢者看護学実習 II	2	高齢者看護の実務経験を活かし、治療を必要として入院する高齢者への療養生活上の援助について指導する。実習病院において入院する高齢者1名を受け持ち、看護過程を用いた看護の展開から、老化や疾病による健康問題を多面的に理解し、看護展開の基礎を修得する。また、高齢者の価値観の多様性を踏まえた看護援助について学ぶ。
細川 満子	在宅看護学方法論	2	訪問看護師としての実務経験を活かし、在宅療養者とその家族を単位とした地域・在宅での看護活動の展開方法と技術について指導する。講義と演習との組み合わせにより、訪問看護で用いられる主な医療的管理や看護ケア技術を学ぶ。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
細川 満子	在宅看護学概論	2	在宅看護の実務経験を活かし、訪問看護の歴史、在宅看護の発展、在宅療養者とその家族のもつ健康課題の特徴と、関連する社会保障制度やシステム、在宅ケアシステムにおける看護職の機能および果たす役割について解説する。認知症、脳血管障害等の高齢者、神経難病、重症心身障害児、精神障害者など広範囲にわたる対象者への在宅ケアについて学ぶ。
細川 満子	在宅看護学実習	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅で療養する対象者やその家族への支援や看護の役割について指導する。訪問看護ステーションの看護活動としての同行訪問し、在宅療養者やその家族が利用できる施設や機関、組織の活用方法や関係機関・職種との連携方法を学び、地域ケアシステムにおいて看護職が担う役割やこれからの看護職のあり方について考察する。
山野内 靖子	小児看護学方法論	2	小児科での実務経験を活かし、健康障害を有する小児とその家族への看護に関する知識と関わり方、小児看護技術の方法について指導する。講義とグループワークによる演習を通じて、特に、現在の小児医療が抱える課題に目を向け、看護の立場から課題解決の方法や支援のあり方について学習する。
山野内 靖子	小児看護学概論	2	小児科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。子どもを取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題について理解し、成長発達過程にある子どもの特徴や小児看護の役割を学ぶ。また小児看護における倫理や子どもの最善の利益を目指した看護について学ぶ。
山野内 靖子	小児看護学実習	2	小児科での実務経験を活かし、地域で生活する子どもと家族、その環境及び様々な場における小児看護実践について指導する。健康な子ども、障がいもち日常生活を送る子ども、治療を要する子どもと様々な健康レベルの子どもや家族の実態と看護支援についてそれぞれの場で実習を通して学び、地域ケアにおける小児看護の在り方について考察する。
市川 香織	母性看護学方法論	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期における母性の特性を理解し、妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について指導する。講義と演習の組み合わせにより妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的变化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特徴についての知識、観察と援助に必要な看護技術を習得できるような形態で行う。
市川 香織	母性看護学概論	2	助産師としての実務経験を活かし、生涯を通じた女性の健康の支援、リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念と具体的な支援、母子保健とそれを取り巻く課題等について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
市川 香織	母性看護学実習	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期(妊娠期・分娩期および産褥期)における女性と新生児の身体的・心理的变化、及びその家族の心理・社会的特徴の査定、対象に応じた看護実践について指導する。病院及び地域の臨地実習で、周産期前後にある女性及び子どもとその家族を理解し、母子や家族の変化を総合的に捉え、健康を保持増進するために必要な看護について考察する。
児玉 悠希	ヘルスアセスメント論	2	病院看護師(日米)と訪問看護師(日)の実務経験を活かし、看護対象者の理解と、健康状態のアセスメント(ヘルスアセスメント)の基礎について指導する。講義と演習の組み合わせにより、ヘルスアセスメントに必要なデータの収集、アセスメント方法を演習し、看護実践の基礎を学ぶ。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
時田 礼子	公衆衛生学	2	保健師として自治体に勤務した経験を活かし、公衆衛生学について、生活をしている限り自分に関係のあることとして捉えられ、且つ看護職としての視点も養うための講義を行う。
小島 善和	成人看護学概論	2	授業で取り上げる概念、理論は、日常の生活場面、健康障害の有無に関わらず、成人期の人を理解し、看護する上で必要であり、授業担当者が医療の場で実際に体験した様々な事例を用いて説明する。
松下 博宣	ヘルスケアマネジメント論	1	看護管理者の実務経験をもとにマネジメントに関する基礎知識と、具体的に活用できるマネジメント方法について講義を行う
松下 博宣	ヘルスケアサービス論	2	アメリカ、カナダ、スリランカ、コンゴ民主共和国でのヘルスケアサービス改善などの経験あり。授業トピックに応じて、それらの知見をシェアする。
成松 玉委	高齢者看護学方法論	2	高齢者看護学の実務経験を活かし、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化をふまえ、高齢者に生じやすい様々な生活機能ならびに健康上における障害の特徴とそれらを予防方法について指導する。講義と演習の組み合わせにより老年看護の対象となる人々の特性に応じた適切な看護の方法と看護実践に必要な基礎知識・技術を習得する。
大石 朋子	口腔健康論	2	摂食嚥下リハビリテーションに従事した経験を活かし、口腔の健康に関連した講義を行う。
谷口 優	疫学・社会調査	2	担当教員が、これまでに小児保健及び長寿科学領域の調査・研究を実施してきた経験を活かし、疫学研究が人々の社会に応用された事例を紹介する。
藤井 かし子	看護学概論	2	病院看護師(日米)、訪問看護師(日)としての実務経験、若手看護師指導経験を活かし、看護の基本概念について解説する。学問としての看護学を概観的に学ぶことで、学習者の看護学に対する興味・関心を培い、動機づける。
藤井 かし子	看護技術論Ⅱ	2	病院看護師(日米)、訪問看護師(日)の病棟での実務経験を活かし、看護技術(主に治療・処置に関わる看護)の基礎について指導する。講義と演習の組み合わせにより、治療・処置による、対象者への身体的、精神的負担を理解し、正確で安全かつ安楽に提供するための知識、技術、態度を学修する。
藤井 かし子	市民活動論	1	様々なボランティア経験を通して活かし、市民活動論の本質について解説する。 ・ゲストスピーカーを招聘して、市民活動・住民活動・当事者活動・ボランティア活動の実際を紹介し、情報発信としてのこれらの役割や、社会の中で果たす役割について講義する。
藤井 かし子	基礎看護学実習Ⅱ	2	病院看護師(日米)と訪問看護師(日)の実務経験を活かし、医療施設において対象者に合わせた看護計画の立案、実施方法について指導する。病院(臨地)において、患者理解と、患者の状態に合った看護実践に向け、その一部を看護過程で展開し、系統的思考プロセスの基本を身につける。また、チーム医療における看護活動の実際とその役割を学ぶ。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
藤井 博英	看護倫理	1	看護師としての実務経験に基づき、臨床場面で遭遇する倫理的諸問題について紹介するとともに、その解決のステップについて学習する。
藤井 博英	精神看護学方法論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
藤井 博英	精神看護学概論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶ。
藤井 博英	精神看護学実習	2	精神科看護師としての実務経験を活かし、精神に障害を持つ者への看護実践について指導する。病棟、デイケア、訪問看護実習を通し、精神障がい者を取り巻く精神保健医療福祉について学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めていくために必要な看護について考察する。
藤井 博英	精神保健	1	精神科看護師としての実務経験を活かし、こころを病むことについて学び、こころの健康を保つ方法について考えていく。また、精神保健医療福祉の歴史を学び、今後の精神保健福祉施策について考察する。
藤谷 克己	医療リスクマネジメント	1	国内での多くの医療機関及び各医療職能団体(日本看護協会等)における講演やワークショップを行ってきた経験を活かし、実践的なワークショップを基にした小演習を実施する。
	合計	62	